



白河地域在宅医療拠点センター通信



「アドバンス・ケア・プランニング」講演会開催報告

開催日：5月26日(金) 場所：白河厚生総合病院 大会議室
共催：白河厚生総合病院 参加者：132名



「2025年問題」を目前として、地域の人々が「人生の最期まで地域で安心して生活できる体制づくり」をどのように考えていくか、医療・介護従事者、行政職の方々とともに学ぶ機会として、亀田総合病院 在宅医療部医長・原澤慶太郎先生を講師にお招きし、『アドバンス・ケア・プランニング～縁起でもない話の先にあるもの～』と題しての講演会を開催いたしました。「アドバンス・ケア・プランニング (以下 ACP)」の定義は「将来の意思決定の低下に備えて、医療者、ケア提供者と本人、家族とケア全体の目標や具体的な治療・療養生活について話し合う過程」とされ、「もしものための話し合い」(原澤先生)ということとなります。この話し合いには「もしもの時」に、どんな治療を受けたいか、また受けたくないか、自分という一人の人間が大切にしている価値観などを、前もって大切な人たちと話し合っておく一連の過程となります。「リビング・ウィル」も ACP に含まれますが、大きく異なる点は、ACP は本人一人では行えず、話し合う相手が必要。しかし、この話し合いは実に難しく、「考えたくない」、「今は決めたくない」と考えてしまい、実際にその時が来たら「話し合えない」…となってしまいうケースが少なくない。しかし先生は、無理強い意味がなく却って侵襲を与えてしまうこと、ACP は最期の時が近づくほど難しくなり、



「健康状態が安定している時に落ち着いて行っていくことが良い」、人それぞれの価値観の多様性を理解し、分かり合うというバランスの取れた意思決定支援が望ましいと話されました。今回の講演会を受け、今年度はグループワークを計画しており、まずは各職種間同士で、地域の課題共有を図っていきたくと考えています。(文:円谷)

【新規事業所紹介】

平成 29 年 5 月 1 日に開業されたクリニックをご紹介します。

【まつやまクリニック】

住所：〒969-0222 西白河郡矢吹町八幡町 562-1
電話：0248-41-2311 FAX：0248-42-5611

診療科目：内科、胃腸科、外科

診療時間：月、火、水、金

午前 8:30～12:00

午後 14:00～17:45

土曜日

午前 8:30～12:00

休診日：木曜、土曜午後、日曜

年末年始 12月30日～1月3日



平成 5 年に福島医大を卒業し福島医大旧第一外科に入局しました。平成 16 年までの約 10 年間、県内外で研修を重ねました。県中・県南地域では公立岩瀬病院や泉崎村立病院での勤務歴があります。平成 16 年に辰星会榊病院(二本松)に就職し約 1 2 年間、地域病院の勤務医として外科関連疾患の他に内科新患を含めた総合診療、訪問診療、緩和医療等を担当しました。平成 29 年 5 月 1 日、矢吹町の「おほりクリニック」を継承することになり「まつやまクリニック」を開業しました。これまでの経験を糧として、地域一次医療の担い手として「健康のお手伝い」を診療の軸に置き、微力ではありますが精励していきたくと存じます。



まつやまクリニック
院長 松山 真一 先生



出前講座

5月17日(水)、ニューロクリニック院長佐藤健先生を講師としてお迎えし、『これからの医療と介護に向き合うために』とのテーマで、白河市緑ヶ丘集会所にて「出前講座」を開催いたしました。(参加者緑ヶ丘町内会員 21名)



先生はクリニックでの外来診療、施設の利用者さんの診療、そして在宅医療においても長年にわたり積極的に取り組まれております。在宅医療においては、必要最小限の医療であったとしても、病院で終末期医療を受けた患者さんと比べ、たいへん穏やかな表情で最期を迎えられていると感じること、看取りとは基本的に家族の役割であること、高齢者医療のありかた、また、先進医療の課題という難しい問題においても、具体的な例を挙げて分かりやすく説明なされました。



講座の第二部として、白河市地域包括支援センター・看護師の星氏より、白河市における介護保険制度の総合事業の内容や認知症を持たれる高齢者への支援体制について詳細な説明があり、参加者からも活発な質疑がなされました。

介護職員講演会のお知らせ

～介護におけるコミュニケーション技術

基本的態度と接遇マナーについて～

日時：7月14日(金) 午後6時00分から午後8時00分

場所：サンフレッシュ白河

講師：境野みね子氏

(日本ホームヘルパー協会副会長・千葉県ホームヘルパー協議会)

◇ご参加等の問い合わせは当センターへお願いいたします。